

【資料を読み取る力】

問い一 「資料ア」から「資料カ」を読んでも分からないことはどれですか。
一つ選んで、 に番号を書きましよう。

④

①

正答 ※ 右の通り。

誤答 ※ 正答以外の番号を書いている。

無答 ※ 何も書いていない。

問い二

A にはどのような言葉が入りますか。
当てはまる言葉を、下の に書きましよう

水（川）

②

正答 ※ 右の通り。幼虫が水中で生活することをとらえていれば正答とする。

誤答 ※ 正答以外のものを書いている。

無答 ※ 何も書いていない。

問い三 川田さんのグループでは、左の図を使って「資料ケ」と「資料コ」を整理しました。その結果、共通点が分かりました。

B にはどのような言葉が入りますか。「うこと」につながるように、左の に書きましよう。

ごみを捨てない
こと

③

正答 ※ 右の通り。「ごみを捨てない」ことに触れてあれば正答とする。

誤答 ※ 正答以外のものを書いている。

無答 ※ 何も書いていない。

※ 資料イ・ウは各種ホームページ等で紹介されている数値を参考にして、作成した。

問い四 鈴木さんは、川田さんの原稿を読んで、説得力のある提案にするためには、
C に事実を加えた方がよい、とアドバイスしました。「資料ウ」をもと
にして、左の [] に一文で書きましよう。

「資料ウ」にあるように、毎年二十五キログラム以上のごみが
集められています。④

【正答】 ※ グラフから読み取ることができる数値が記述されている。

※ ここ数年の推移が記述されている。

※ またはその両方が記述されている。

「去年は二十七キログラムもごみが集まったことが分かります。」

「最近は二十五キログラム以上であり変わっていないことが分かります。」

「最近はまだ減っていないことが分かります。」

【誤答】 ※ 児童の意見や評価のみが記述されている。

※ 二文以上になっている。

「ごみは多い」

「減っていない」

【無答】 ※ 何も書いていない。

問い五 あなたは、かん板を使った呼びかけに取り組むことを提案するために意見文
を書き、六年生へ発表することになりました。左の表の条件を満たした意見文
を書きましよう。

【指定された文字数で意見文を書く力】と条件①について
指定された文字数で意見文を書いている。⑤

【正答】 ※ 三六〇字以上、四〇〇字以内で書いている。

【誤答】 ※ 三六〇字未満、または、四〇〇字を越えて書いている。

【無答】 ※ 何も書いていない。

【注意】 三六〇字を満たしていない場合、または「無答」の場合、⑤以降の問題は、
正しく答えていても「無答」とすること。四〇〇字を越えて「誤答」の場合
は、⑥以降採点の対象とすること。

【段落を構成する力】と条件②について

「始め」「中」「終わり」の三部構成で、四段落で書いている。⑥

【正答】 ※ 「始め」意見の表明」「中」資料から分かること・資料から考え
られること」「終わり」意見の表明の繰り返し、または結びに当た
る記述」といった三部構成で、四段落で書かれてあれば正答とする。

【誤答】 ※ 「始め」「中」「終わり」の三部構成を意識した段落を作っていない

い場合。一字下げがされていない場合。意見のまとまりを考えずに
改行されている場合。

無答

※ 段落が全くない。

【理由を明確にして記述する力】～条件③について

意見の根拠となる資料を複数選択している。

⑦

正答

※ 訴えたいことにかかわる資料を選択し、「資料○にあるように～」
といった文型で理由から分かることを、自分の意見にかかわらせて
記述している。

誤答

※ 選択した資料のうち、一つまたは複数が、看板を作る理由と整合
していない。

無答

※ 理由が資料と関係ない事柄になっている。

【理由に説得力をもたせて記述する力】～条件④について

理由に自分の解釈・意見などを加えて書いている。

⑧

正答

※ 資料で表されている数値や言葉から分かることに加えて、それが
多いのか少ないのか、といった解釈や、改善するにはどうしたらよ
いのか、といった意見を一つ以上書いている。

誤答

※ 資料を読み取り、分かることに記述がとどまっている。

無答

※ 解釈や意見の記述がない。

今年、かん板を使った呼びかけにも取り
組むことを提案します。なぜなら、見に来る
人が気を付けなければ、ホタルの住みやすい
川にはならないからです。

まず、ホタルをつかまえないことを呼びか
けます。「資料オ」を見ると、ホタルを見る
人がホタルをつかまえてしまうことが、数が
減つた原因の一つになっています。「資料コ」
にあるように、山本さんもやめてほしいと言っ
ています。自然の生き物をそのまま観察する
ことは大事なことでと考えます。

次に、ホタルを見るときに守ってほしいこ
とを呼びかけます。「資料コ」からホタルを
見ながらライトを照らす人がいることが分か
ります。周りが明るいと、ホタルは仲間を呼
ぶことができなくなってしまうと思います。

このようにかん板を使ってホタルを見に来
る人たちに呼びかければ、マナーを守って見
る人がふえて、ホタルの住みやすい川にでき
ると考えます。

(三三五字)

今年、かん板を使った呼びかけにも取り
組むことを提案します。なぜなら、ホタルを
見に来る人のマナーをよくする必要があると
考えるからです。

まず、ごみを捨てないことを呼びかけます。
「資料ウ」にあるように、毎年二十五キロ以
上もごみが集められています。二十五キロも
川にごみがあるというのは多いと思います。
「資料ク」にあるように、ホタルの会の人た
ちもごみがなくならないことを困っています。
次に、ホタルをつかまえないことを呼びかけ
たいと思います。「資料オ」にあるよ

うに、見に来る人がホタルをつかまえたこと
でホタルの数が減ってしまったことが分かっ
ているからです。

このように、かん板を使ってホタルを見に
来る人たちに呼びかければ、ホタルを見に来
る人のマナーがよくなって、ホタルが守れる
と考えます。

(三三六字)